

【参考資料】



目指す学校教育の実現に向けた具体的取り組み

1-1 学びをつなぐ 「小中一貫教育の推進」



今日的な教育課題

- ① 小・中学校間の学習・生活上の段差
 - ② 多様な児童生徒への対応
 - ③ 小1プロブレム, 小中ギャップ
 - ④ 学校の役割の多様化・複雑化
 - ⑤ 教員・管理職不足
 - ⑥ 学校の働き方改革
 - ⑦ 人口減少, 学校規模の不均衡
 - ⑧ 施設の老朽化・修繕コスト
- ※⑦⑧義務教育学校の場合

現行の教育制度

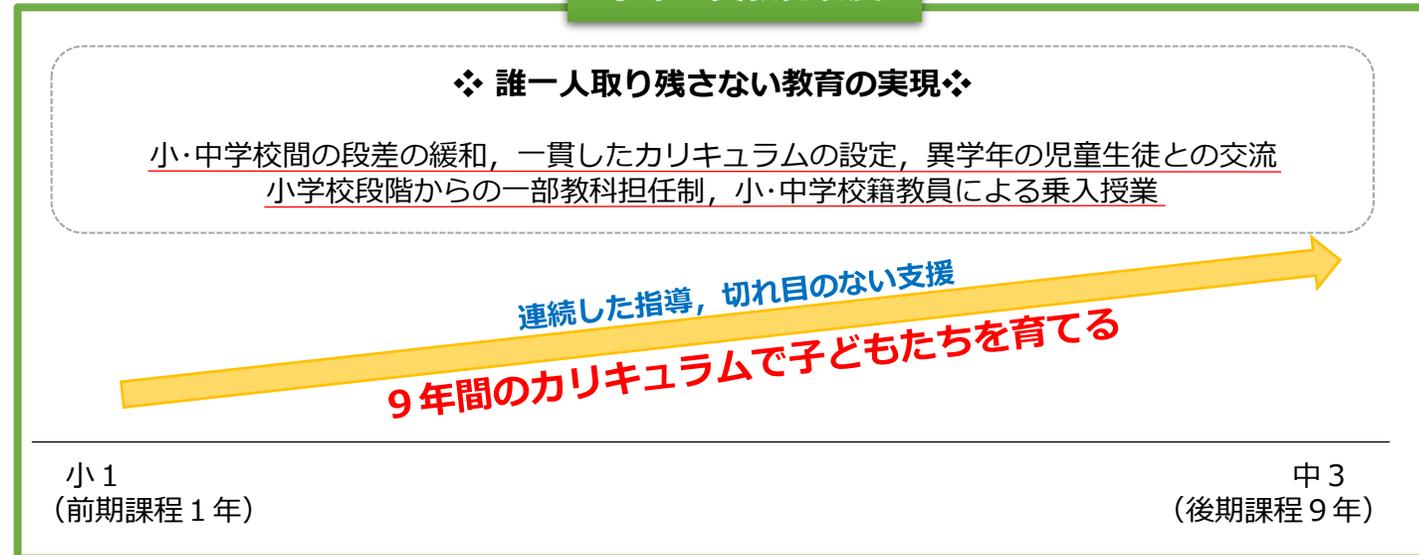


小中一貫教育

小学校+中学校=義務教育学校

- ① 小・中学校間の円滑な接続
 - ② 切れ目のない支援の実現
 - ③ 連続性のある指導の実現
 - ④ 教職員の連携による組織的対応
 - ⑤ 組織的な教育活動・事務の実現
 - ⑥ 効率的な事務の実現
 - ⑦ 児童生徒数の減少に合わせた運用
 - ⑧ 施設の維持コストの削減
- ※⑦⑧義務教育学校の場合

小中一貫教育制度



1-1 学びをつなぐ 「小中一貫教育の推進」



小中一貫教育の制度概要

小中連携教育

小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す教育

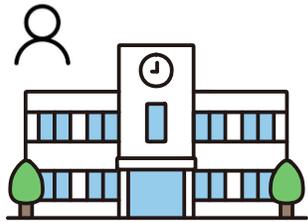
小中一貫教育

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が**目指す子ども像を共有し**、9年間を通じた教育課程を編成し、**系統的な教育を目指す教育**

義務教育学校

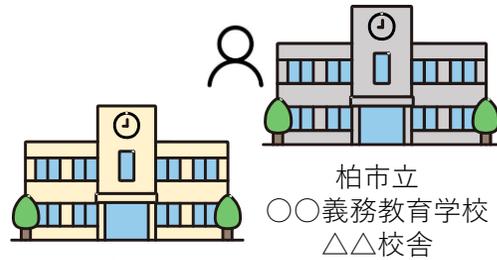
施設一体型

* 柏中学校区



柏市立
○○義務教育学校

施設分離型



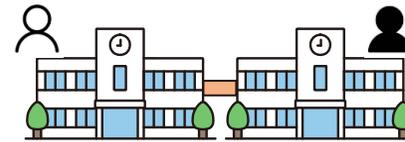
柏市立
○○義務教育学校
□□校舎

- ・ 修業年数は**9年**（前期課程6年・後期課程3年）
- ・ 校長は**1人**，**1つ**の教職員組織

小中一貫型小学校・中学校

施設一体・併設型

* 柏の葉小・中学校



柏市立
○○義務教育学校

施設分離型

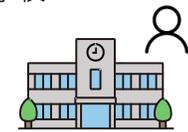
* 柏市内の多くの小・中学校



柏市立
□□中学校



柏市立
○○小学校



柏市立
△△小学校

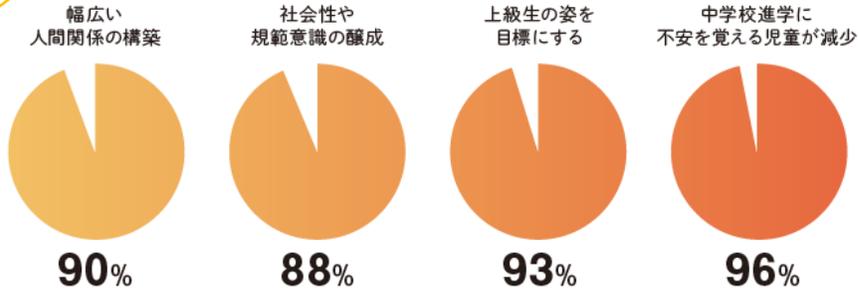
- ・ 修業年数は**小学校6年**，**中学校3年**
- ・ **各学校に**校長は1人，**それぞれの**教職員組織

1-1 学びをつなぐ「小中一貫教育の推進」

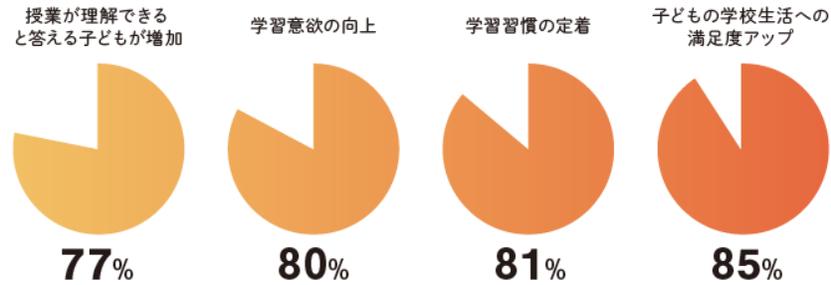


成果

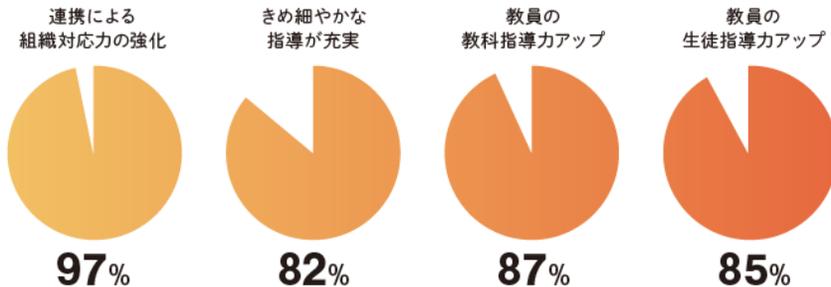
子ども



教育活動

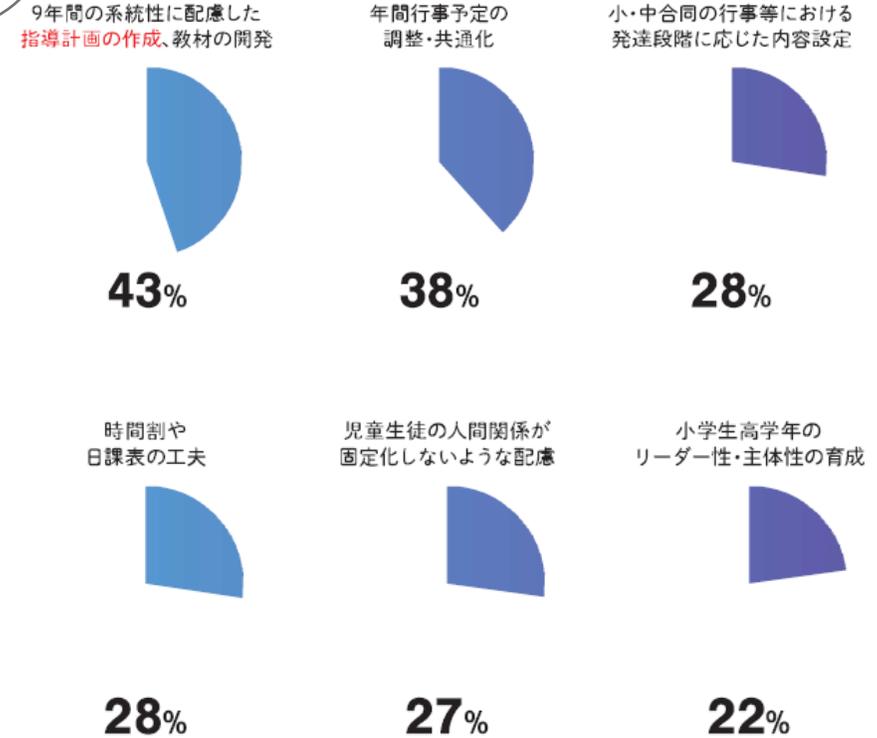


教職員



課題

学習指導・生徒指導等



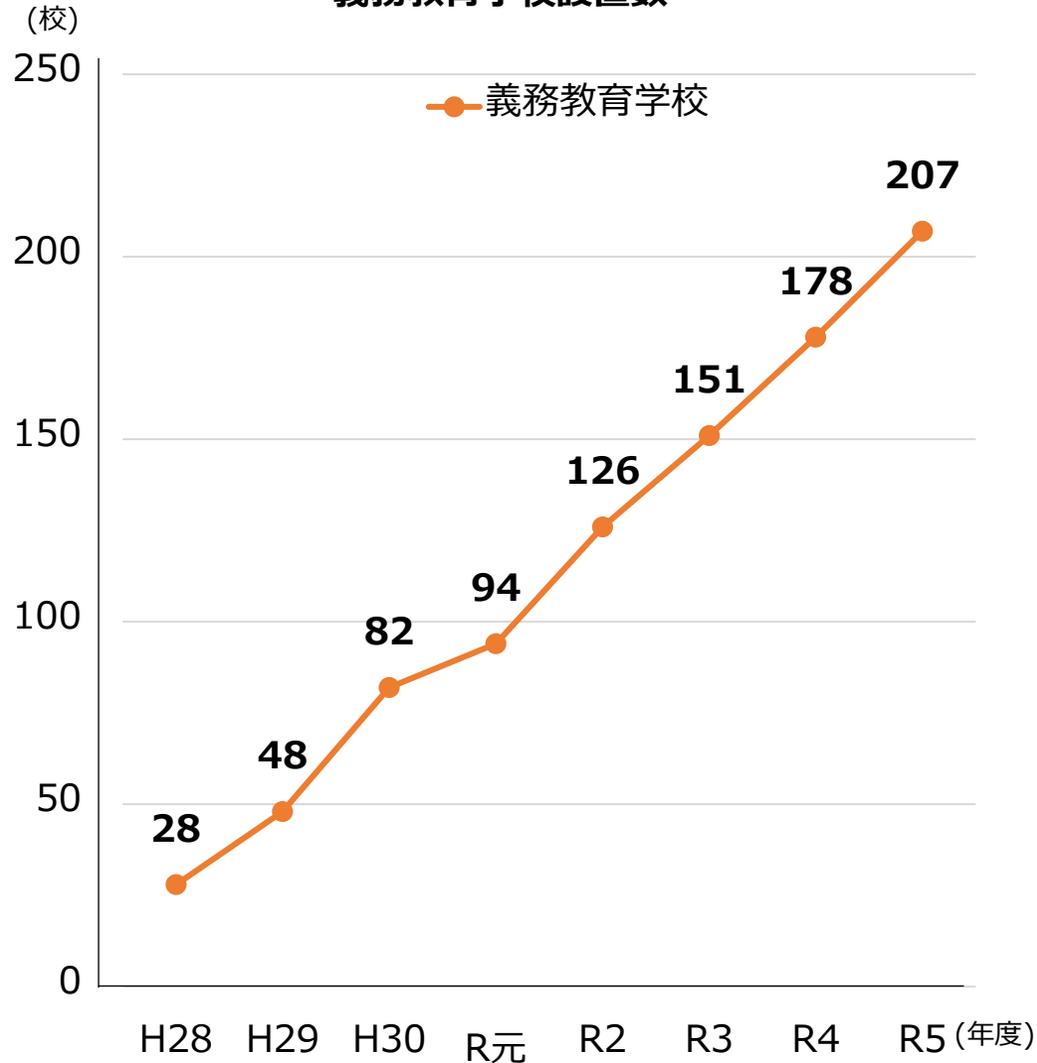
出典

文部科学省「小中一貫教育の導入状況調査について」(H29)

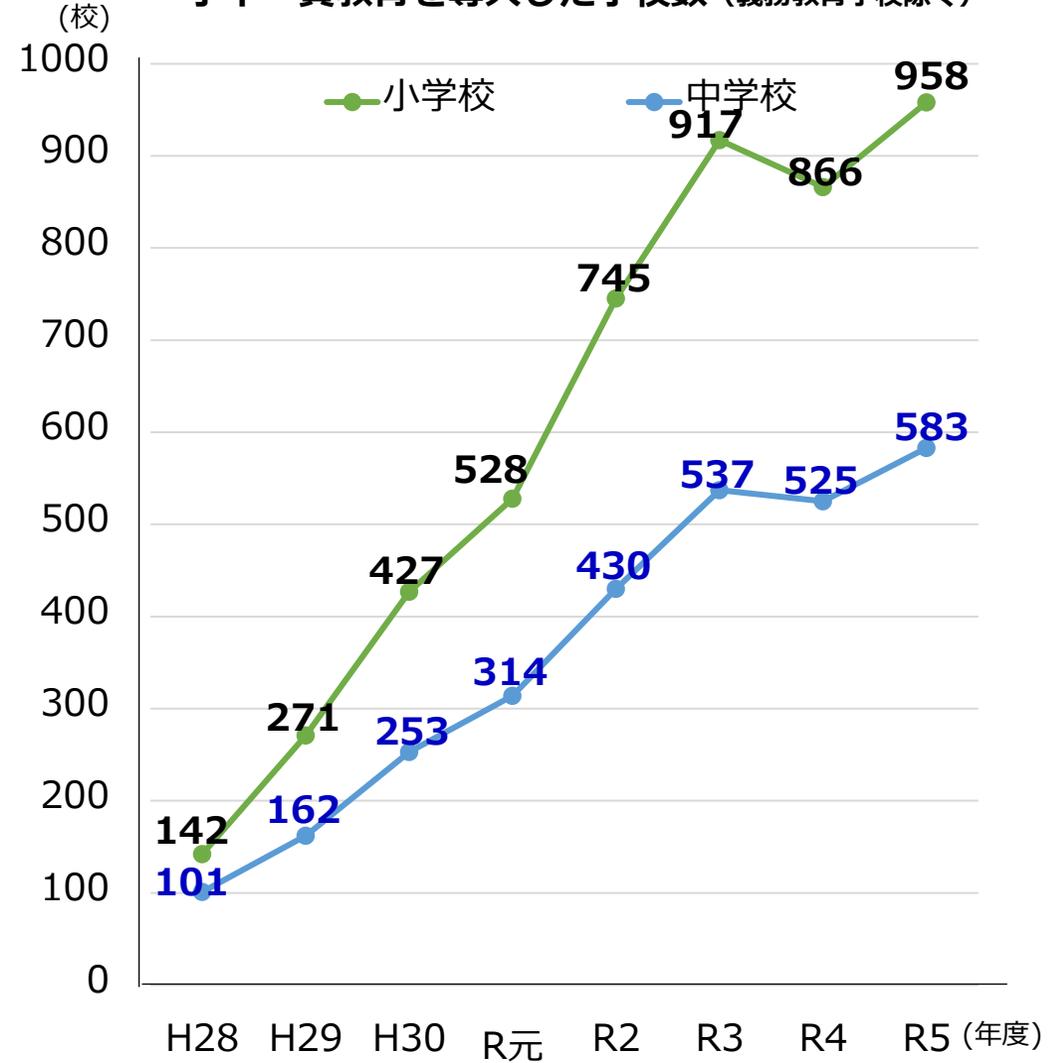
1-1 学びをつなぐ「小中一貫教育の推進」



義務教育学校設置数



小中一貫教育を導入した学校数 (義務教育学校除く)



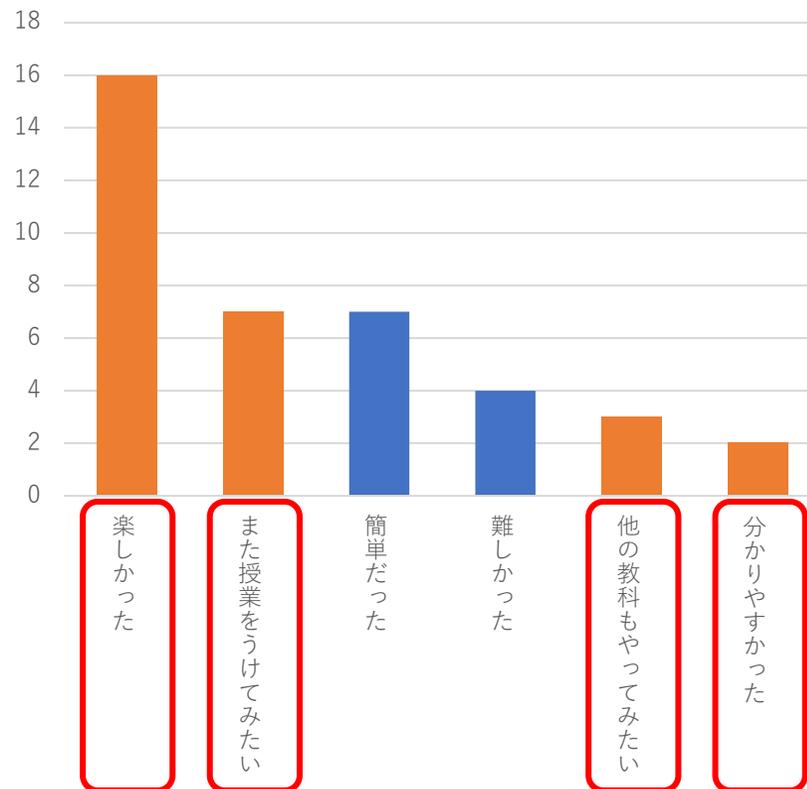
出典 文部科学省「学校基本調査」(R5)

1-1 学びをつなぐ 「小中一貫教育の推進」



柏中学校による
乗り入れ授業の様子

乗り入れ授業の児童感想

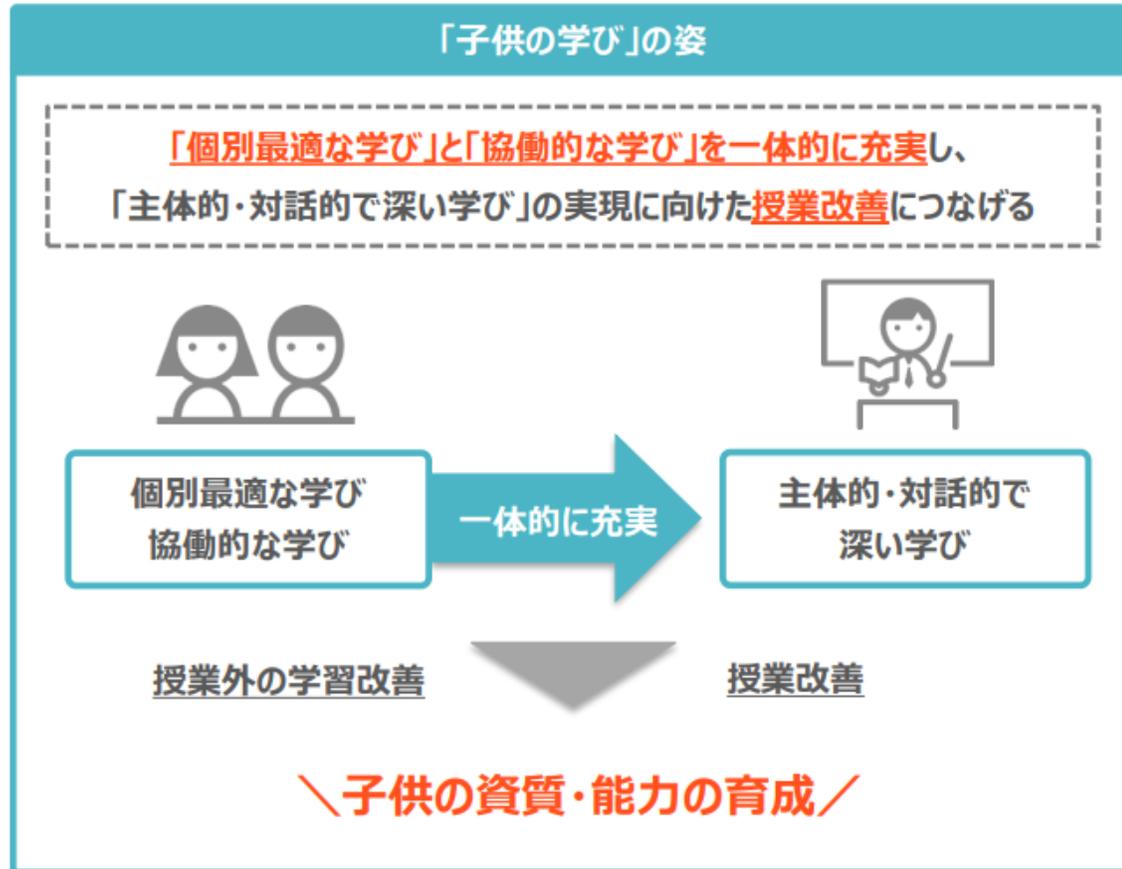


令和5年度末乗り入れ授業の児童感想より（旭東小にて）

2-1 子ども主体の学び 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」



個別最適な学び・協働的な学びのイメージ



個別最適な学び【学習者視点】（＝個に応じた指導【教師視点】）

子供が自己調整しながら学習を進めていく

指導の個別化

- ✓ 子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、
- ✓ 教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う



→ 一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、
異なる方法等で学習を進める

学習の個性化

- ✓ 子供一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、
- ✓ 教師は一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う



→ 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる

協働的な学び

- ✓ 子供一人一人のよい点や可能性を生かし、
- ✓ 子供同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する



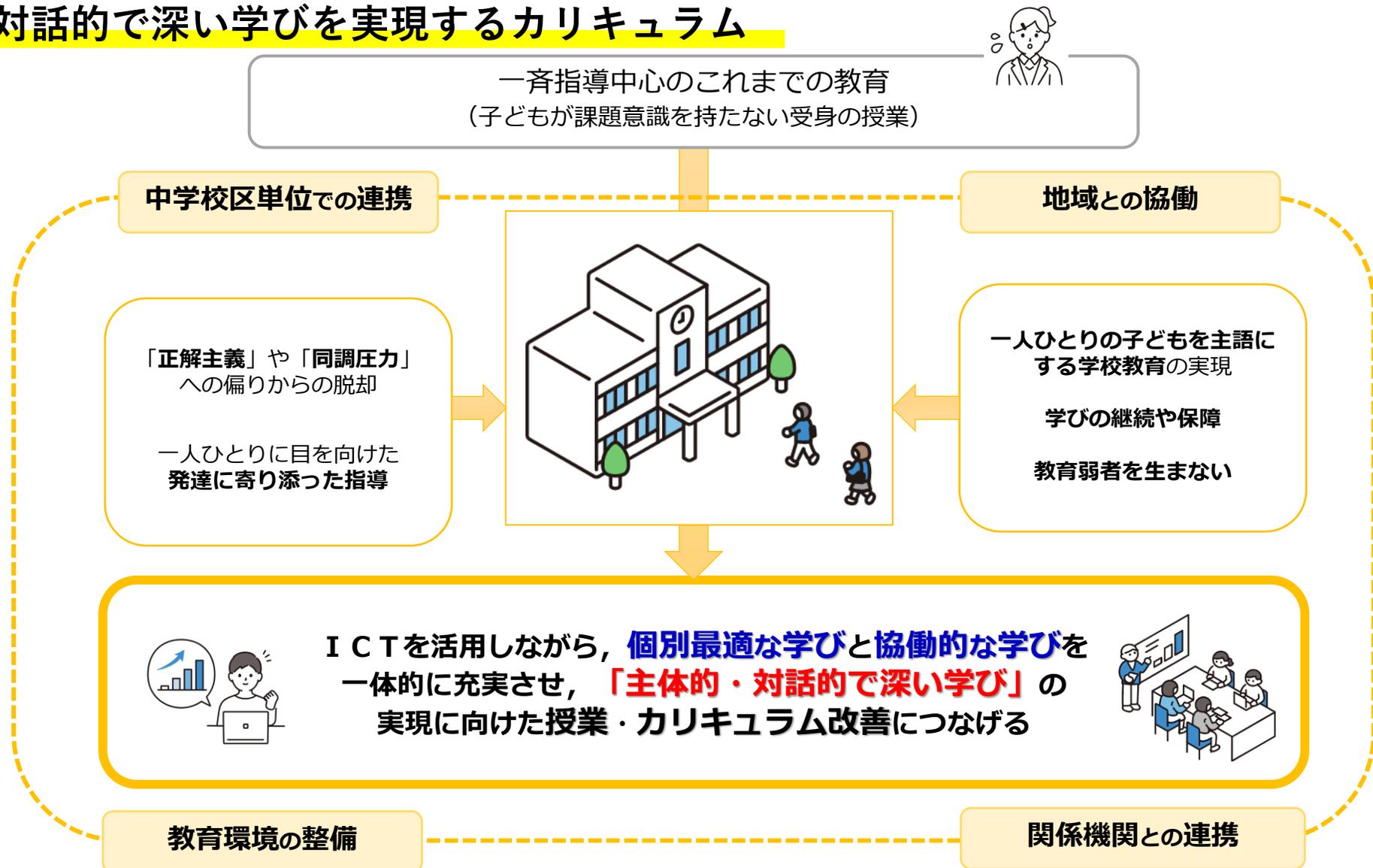
→ 異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す

出典：文部科学ホームページ

2-1 子ども主体の学び 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」



主体的・対話的で深い学びを実現するカリキュラム



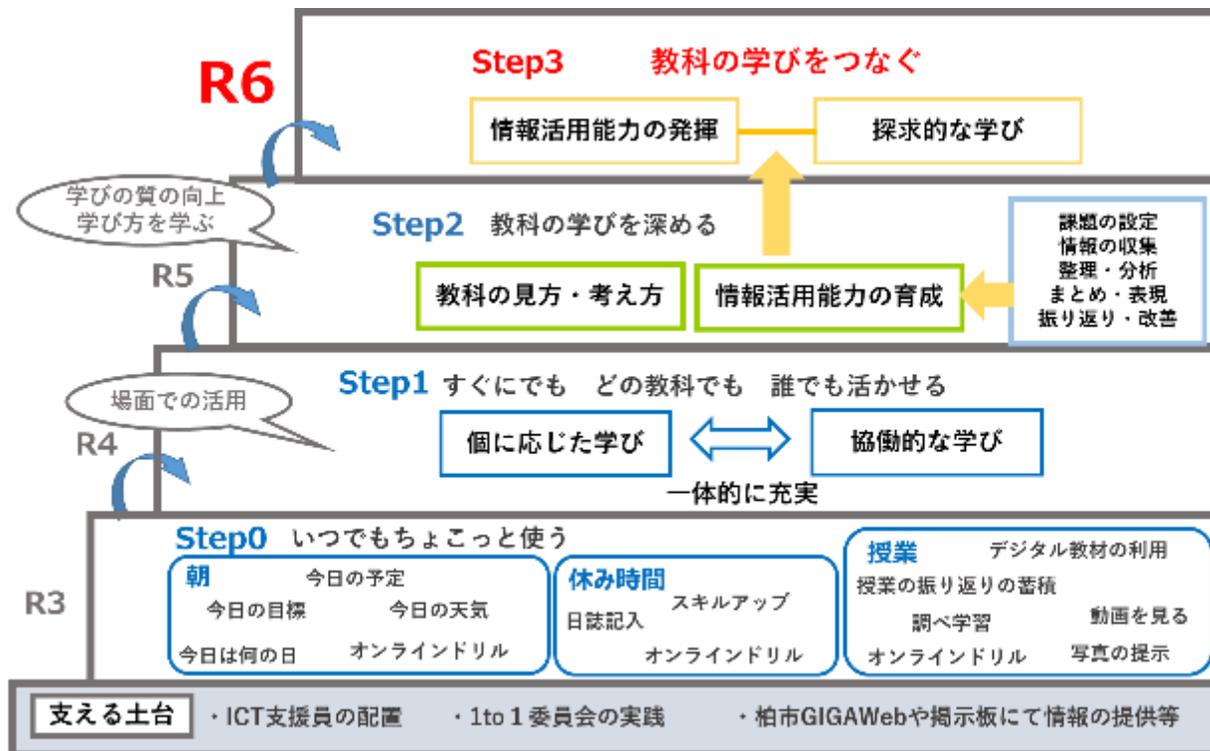
2-1 子ども主体の学び 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」



柏市GIGAスクールの目指す姿

基本
コンセプト

これからの時代を生き、これからの時代をつくる子ども達を育てる
～社会の変化に対応し、未知の課題を解決できる基本的な資質・能力を育てる～



2-1 子ども主体の学び 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」



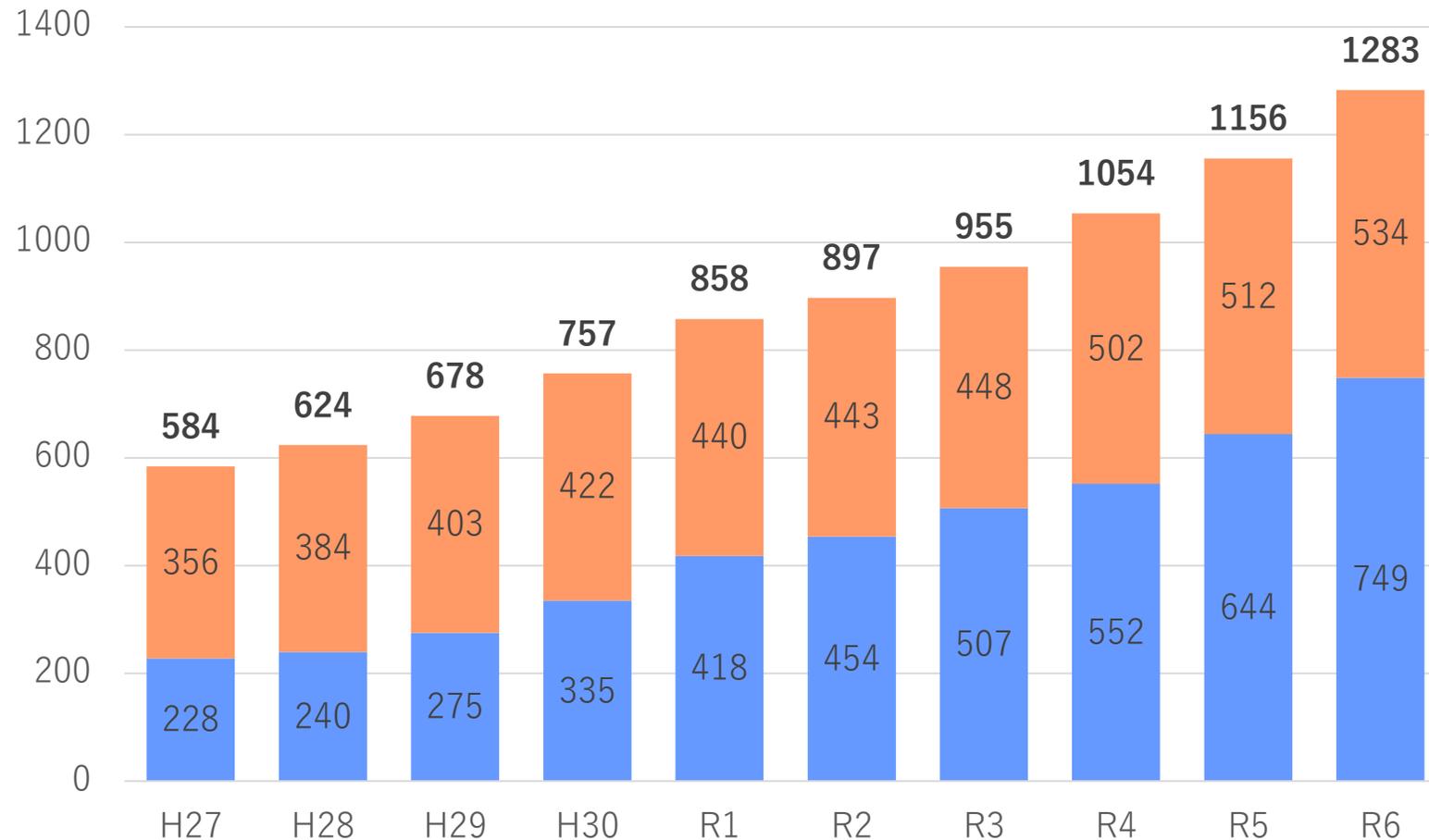
子どもが主役、自分で学ぶ、学び合う



2-2 子ども主体の学び 「特別支援教育の推進」



特別支援学級在籍児童生徒数の推移(知的障害・自閉症・情緒障害)



■ 自閉症・情緒障害学級児童生徒数 ■ 知的障害学級児童生徒数

知的
1.5倍

自閉症・情緒
約3.3倍

2-2 子ども主体の学び 「特別支援教育の推進」



通級指導教室

| 通級指導教室 | 設置校数 | 設置校 |
|--------|------|------------------------------------|
| きこえの教室 | 1 | 柏三小 |
| ことばの教室 | 8 | 柏三小 旭小 増尾西小 逆井小 富勢西小 大津一小 柏の葉小 柏八小 |
| 情緒の教室 | 2 | 十余二小 中原小 ※JR常磐線以北と以南で分けている |
| 情緒の教室 | 1 | 土中 |

- ことばの教室は、3教室設置している学校もあり、偏りがある状況
- 利用児童や保護者の利便性を考慮し、設置校の変更を検討
- 情緒の教室のニーズが高い

県立特別支援学校における通級指導

| 通級指導教室 | 設置校数 | 設置校 |
|---------------------|-------|---------------------------------------|
| 野田特別支援学校 サテライト教室 | 視覚障害 | 柏中内サテライト教室 |
| 野田特別支援学校 サテライト教室 | 聴覚障害 | 柏三小内サテライト教室 |
| 松戸特別支援学校 通級による指導 | 肢体不自由 | 在籍校を巡回指導又は本校 |
| 柏特別支援学校 通級による指導 | 病弱 | 東京慈恵会医科大学附属柏病院, 東葛病院 国立がん研究センター東病院 |

特別支援学校の センター的機能

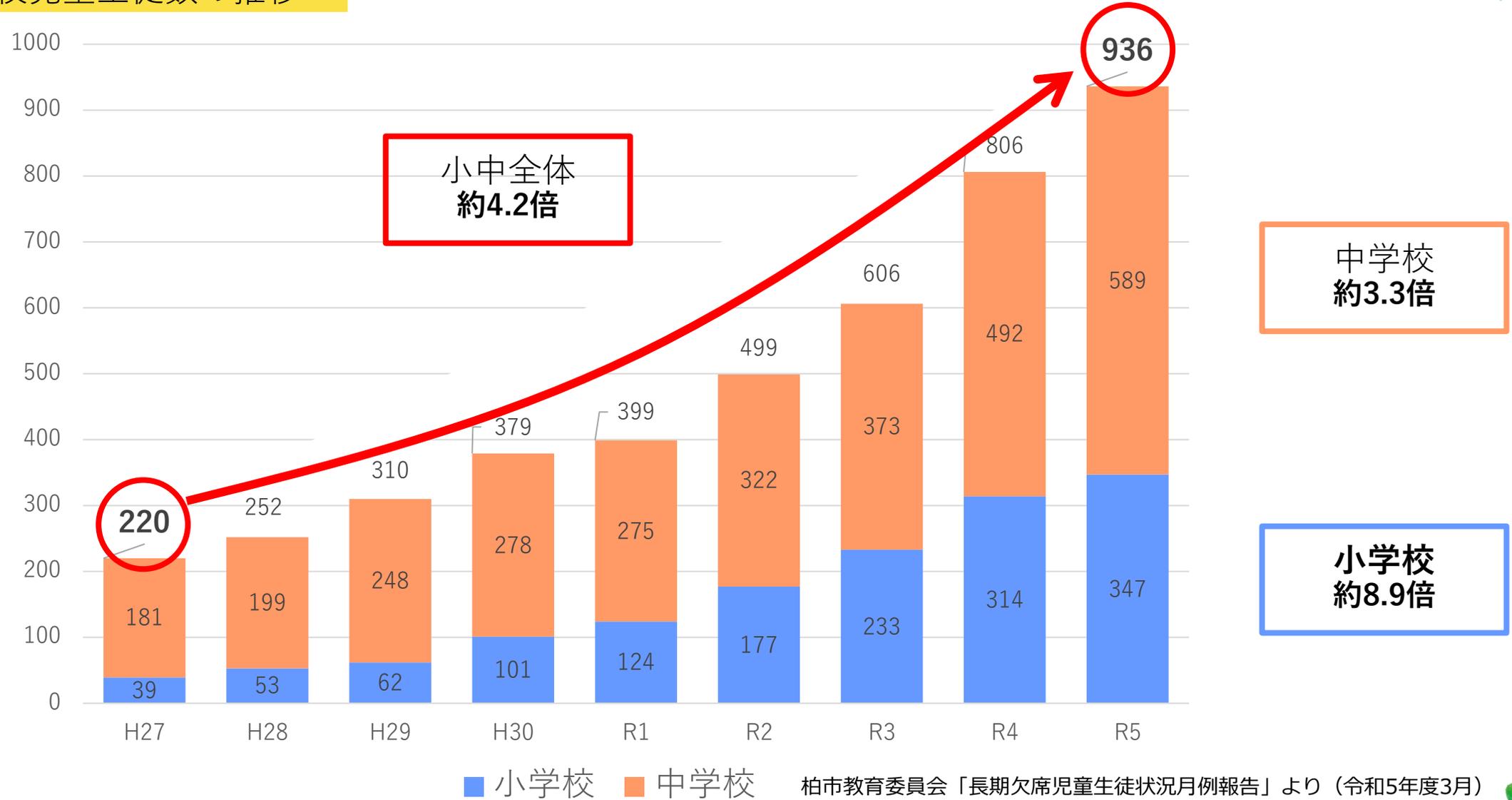
県立特別支援学校が、地域の小中学校に対して、研修会の公開や、巡回相談、通級による指導等を実施。

- 特別支援学校への依頼を継続していく
- 視覚、聴覚の指導ができる教員の育成が課題

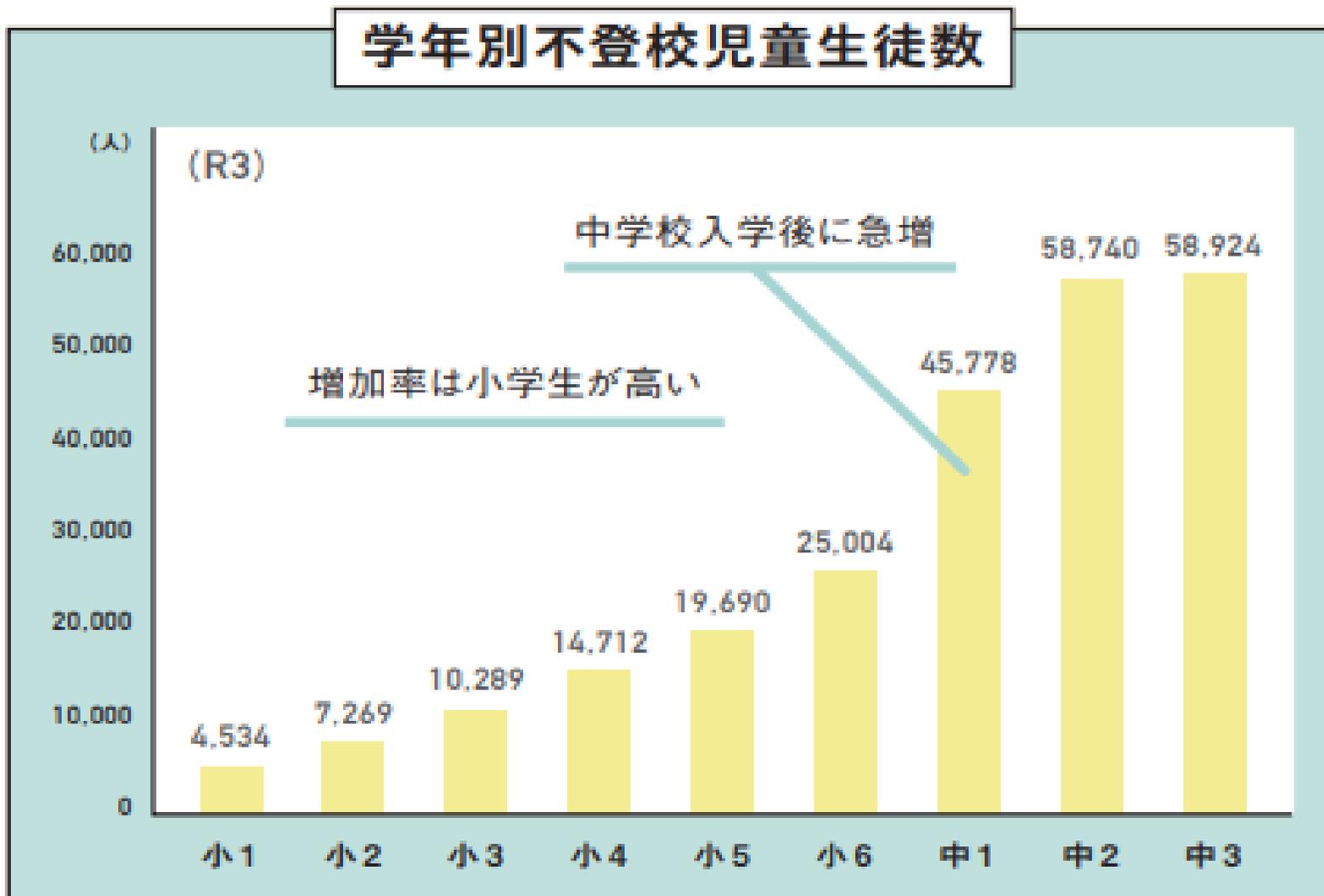
3-1 安全・安心な居場所づくり 「不登校児童生徒への支援」



不登校児童生徒数の推移



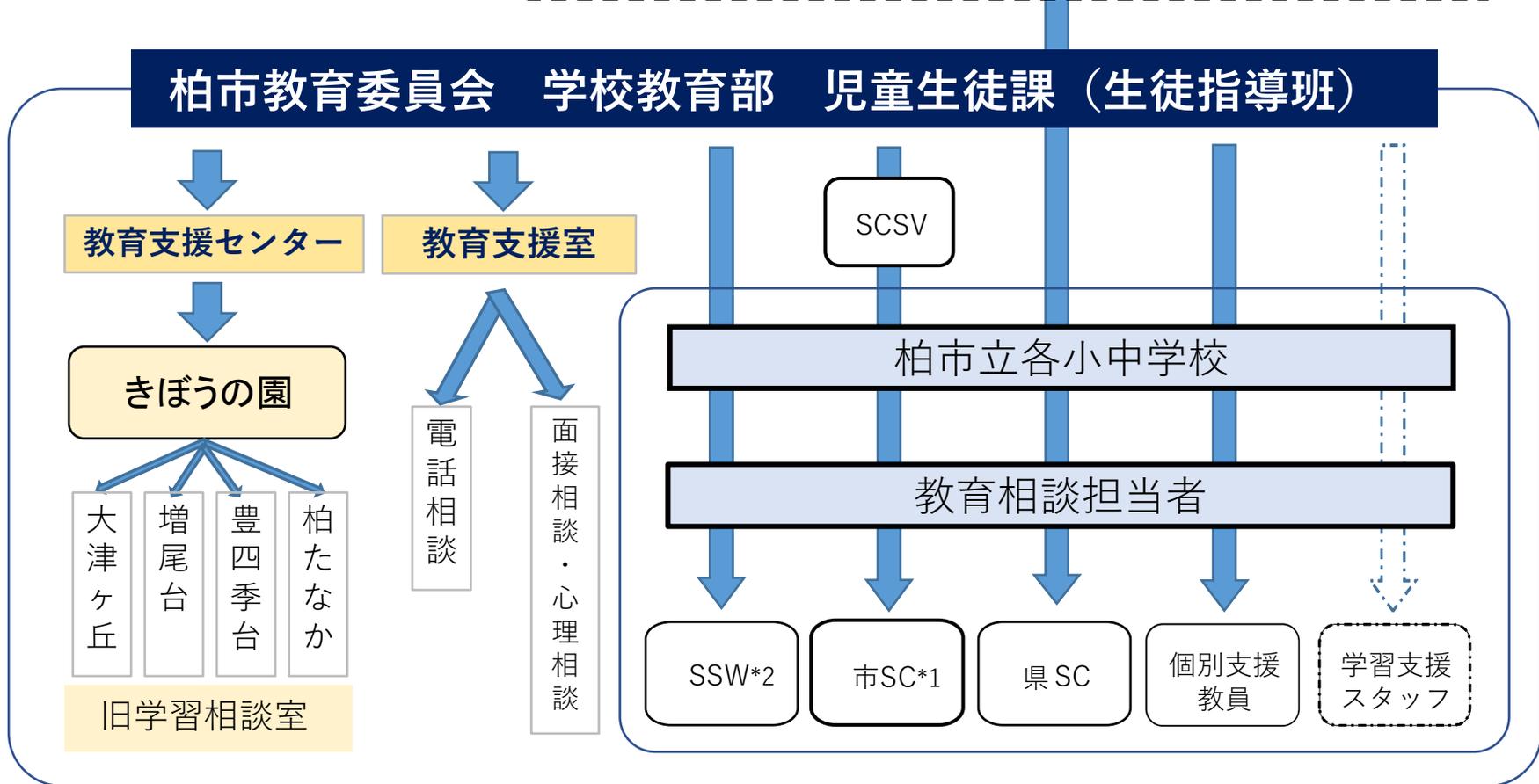
3-1 安全・安心な居場所づくり 「不登校児童生徒への支援」





柏市教育相談体制

千葉県教育委員会 教育振興部 児童生徒安全課



教育支援センター

不登校児童生徒やその保護者に対し、学習支援や教育相談、訪問相談を行うことで学校と家庭以外の居場所として機能し、社会的な自立につなげる。

- きぼうの園 (旧青少年センター内)
 - ・教員免許を有する指導員配置
- 大津ヶ丘 (大津ヶ丘第二小学校内)
- 増尾台 (増尾西小学校内)
- 豊四季台 (柏第六小学校内)
- 柏たなか (田中北小学校内)

教育支援室

教育相談員や教育相談心理士（臨床心理士・公認心理師資格を有するカウンセラー）が幼児、小学生、中学生の教育・子育てに関する相談活動（進路、不登校、発達全般、親子関係など）

- 電話相談
 - ・電話相談
 - ・面接予約
- 面接相談
 - ・心理面接
 - ・発達検査

*1 **SC：スクールカウンセラー**
 …児童生徒及びその保護者の心の悩み等を中心にカウンセリングを行い、その心の安定を図り、学校教育親展の一助となす

*2 **SSW：スクールソーシャルワーカー**
 …「子どもの最善の利益」を優先し、児童生徒一人一人の生活の質を向上、学ぶ権利の保証とそれを支える学校・地域をつくる

3-1 安全・安心な居場所づくり 「不登校児童生徒への支援」



- 不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、**社会的に自立することを目指す必要があること**
- 不登校児童生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、不登校のきっかけや継続理由に応じて、適切な支援や働き掛けを行う必要があること

出典：文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」

「社会的自立」の定義

社会の一員として責任ある行動をとり、人との関わりの中で合意形成できる能力

文部科学省「自立と共生社会」より引用

学びたいと思った時に学べる環境の整備

【COCOLOプランで挙げられている取り組み】

- ①不登校特例校(学びの多様化学校)の設置を促進
- ②校内、校外の教育支援センターの設置を促進、機能強化
- ③高等学校等においても柔軟で質の高い学びを保障
- ④多様な学びの場、居場所を確保

心の小さなSOSを見逃さず「チーム学校」で支援

【COCOLOプランで挙げられている取り組み】

- ①1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進
- ②「チーム学校」による早期支援を推進
- ③一人で悩みを抱え込まないよう保護者を支援

「みんなが安心して学べる」学校を創生する

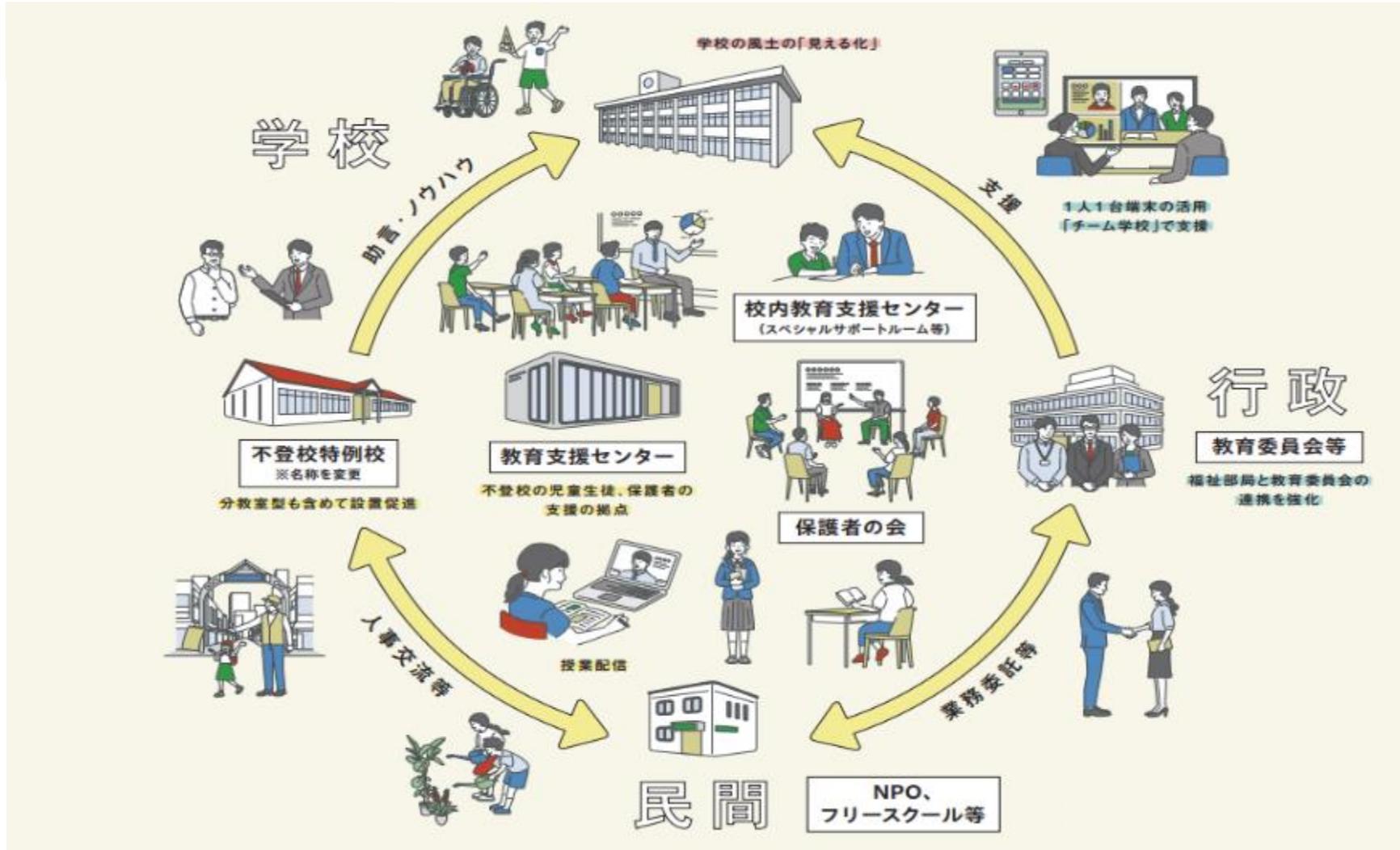
【COCOLOプランで挙げられている取り組み】

- ①学校の風土を「見える化」
- ②学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」を改善
- ③いじめ等の問題行動に対しては毅然とした対応を徹底
- ④児童生徒が主体的に参加した校則等の見直しの推進
- ⑤快適で温かみのある学校としての環境整備
- ⑥障害や国籍言語等の違いに関わらず、色々な個性や意見を認め合う共生社会を学ぶ場に

出典：文部科学省COCOLOプラン



つながりのイメージ



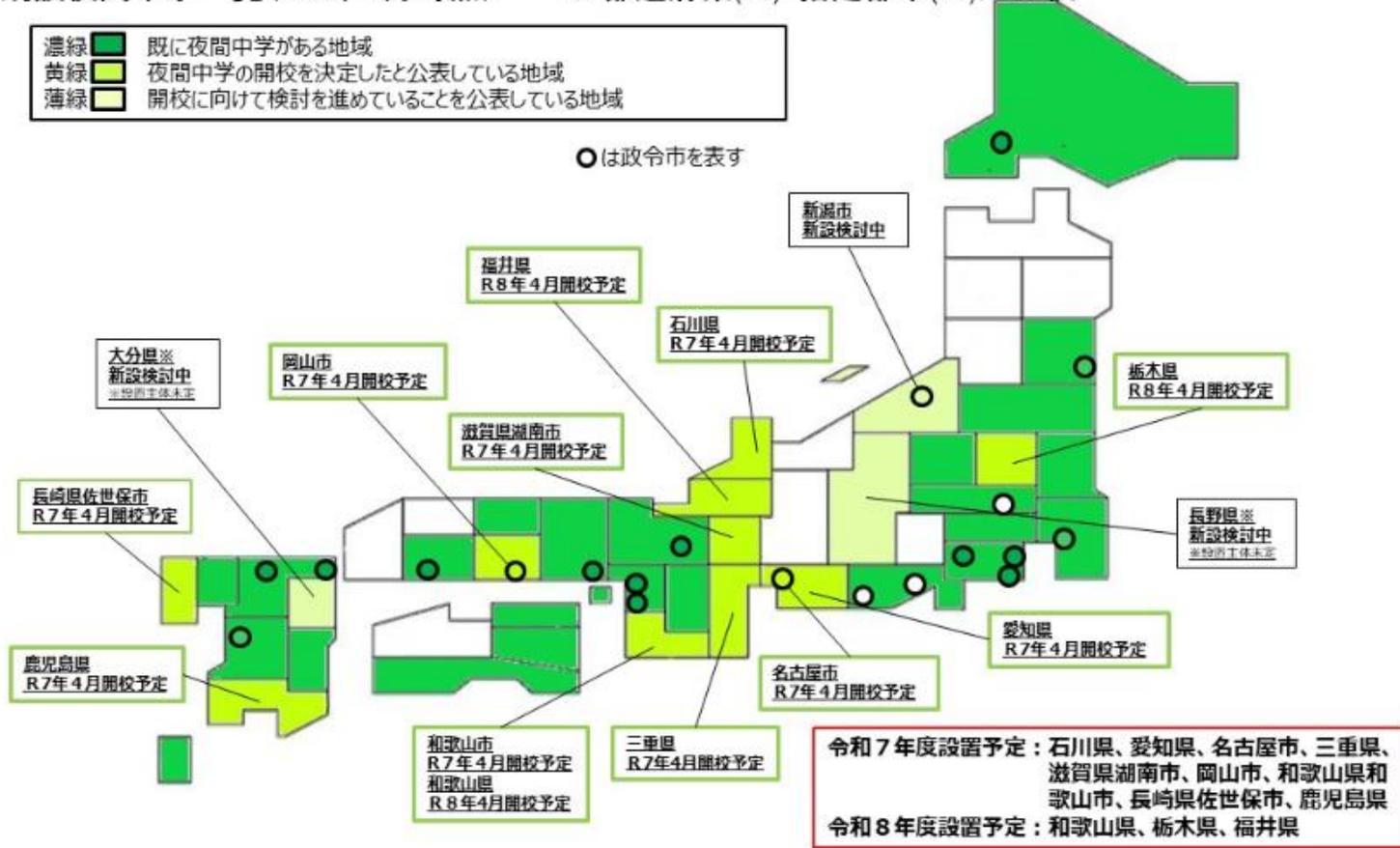


夜間中学の設置・検討状況

既設夜間中学一覧(R6年4月時点) 31都道府県(18)・指定都市(13)に53校

- 濃緑 ■ 既に夜間中学がある地域
- 黄緑 ■ 夜間中学の開校を決定したと公表している地域
- 薄緑 ■ 開校に向けて検討を進めていることを公表している地域

○は政令市を表す



| 千葉県内の設置状況 | |
|-----------------|------|
| 市川市大洲中学校 | S57~ |
| 松戸市立第一中学校みらい分校 | H31~ |
| 千葉市立真砂中学校かがやき分校 | R5~ |

自主夜間中学

○概要
民間ボランティアの協力を得て、教育委員会や任意団体等が実施する自主夜間中学で、識字講座等の取り組む。
中学校卒業証書はもらえない。

- 柏市自主夜間中学
- ・2009年4月に開校
 - ・毎週木曜夜、土曜午後
 - ・ラコルタ柏で活動
 - ・柏市民公益活動促進基金登録団体



文部科学省「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」（令和5年8月28日）

学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進

1

- 「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組
- 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し
- 持続可能な勤務環境整備等の支援の充実

学校における働き方改革の実効性の向上等

2

- 地域、保護者、首長部局等との連携協働
- 健康及び福祉の確保の徹底
- 学校における取組状況の「見える化」に向けた基盤づくり

持続可能な勤務環境整備等の支援の充実

3

- 教員定数の改善
- 支援スタッフの配置充実
- 処遇改善
- 教師のなり手の確保

5-1 生き生きと働き 学び続ける教職員 「子どもと向き合う時間の確保」



柏市の小中学校における働き方改革推進の状況【概略】

令和6年2月作成：柏市教育委員会

| | | |
|----------|--|---------------|
| Goals | 質の高い学校教育 質の高い教師 質の高い働き方改革 | 各校教育目標 めざす姿 |
| Keywords | 教師が教師でなければできないことに全力投球できる環境 | 「特効薬のない総力戦」 |
| Approach | Eliminate(無くす) Combine(併せる) Rearrange(替える) Simplify(簡素化) | 〈ECRS〉の見方・考え方 |

① 何のため、誰のための働き方改革推進なのか → 教師の働きがい改革・子どもの学び方改革・学校教育改革へ

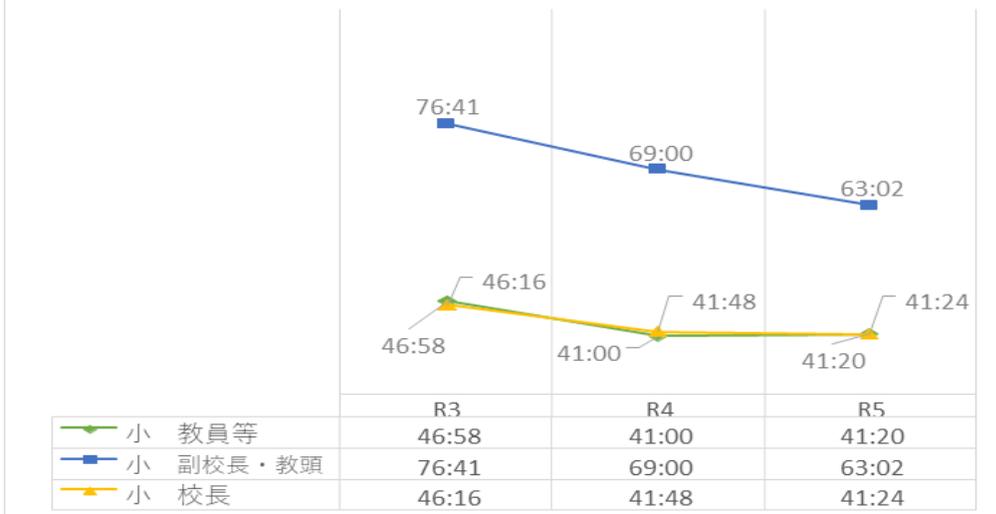
| | | | | | | | | |
|-------------|--|----------------------|-----------------|----------------|-------------------|--------------------|------------------|--------------------|
| 市 教 委 | 柏市教育委員会としての取組例 【子どもと向き合う時間の確保】【ワーク・ライフ・バランス】をすべての柏市教職員に… | | | | | | | |
| | 支援員等の 多様な配置 | 部活動の 地域移行 | 小学校教科 担任制推進 | ICT環境の 整備支援 | 校務DX化 クラウド活用 | 市の行事や 会議等削減 | 配付物等の ペーパーレス | コミュニティ・ スクール推進 |
| | 統合型校務支援 システム導入 | 勤務状況セルフ チェックシート活用 | 好事例の共有 や研修実施 | 日課表や時数 の見直し | 働き方改革推進 委員会の設置 | 電話対応時間や 閉庁日の見直し | 時間外在校等 時間上限指針 | 教職員相談窓口 (SNS活用) |

| | | | | | | | | |
|-------------|--|----------------|--------------|------------|-----------|--|--|--|
| 各 学 校 | 柏市立各小中学校の取組例 【管理職のビジョン】【ミドルリーダーやキーパーソンのリーダーシップ】【ボトムアップ】 | | | | | | | |
| | 「柏市モラルアップ推進委員会代表者会議」にて作成した各校の『働き方改革アクションプランシート』より300以上の事例を掲載 | | | | | | | |
| (例) | ▶ 教育課程・日課表 | ▶ 学習評価(成績・テスト) | ▶ 研究・研修 | ▶ 行事 | ▶ 宿題・家庭学習 | | | |
| | ▶ 児童への連絡 | ▶ 人材活用(地域・保護者) | ▶ 職員会議・打ち合わせ | ▶ 職員間の連絡調整 | | | | |
| | ▶ 校務・事務・職員作業 | ▶ 保護者対応・連絡手段 | ▶ 部活動 | ▶ モラルアップ | 他 | | | |

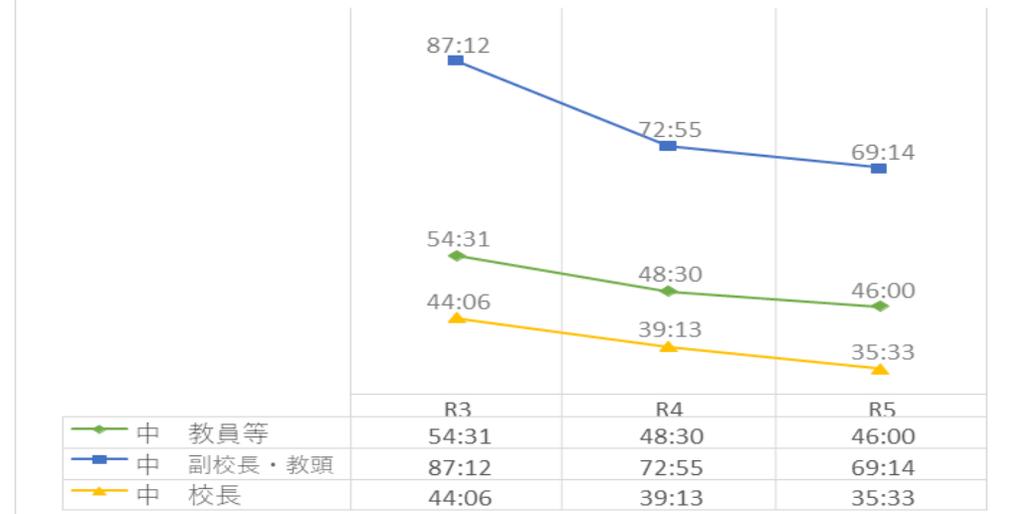
5-1 生き生きと働き 学び続ける教職員 「子どもと向き合う時間の確保」



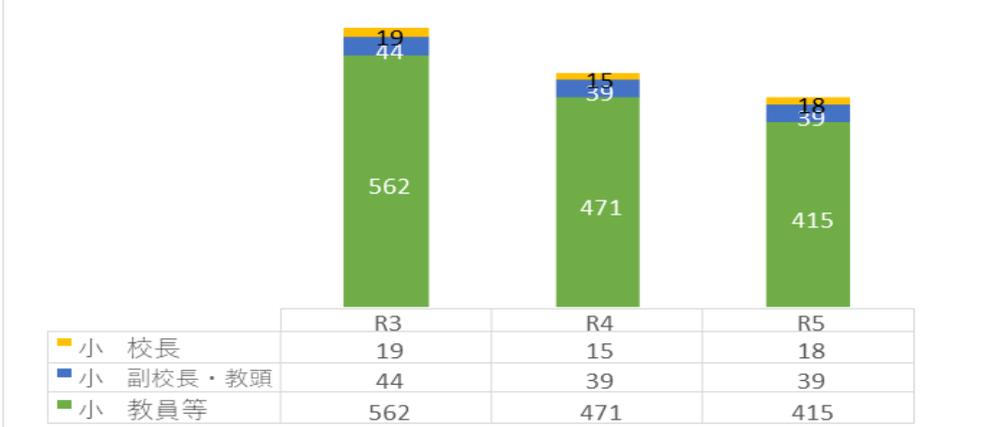
【小】 時間外在校等時間平均の推移（時間:分）



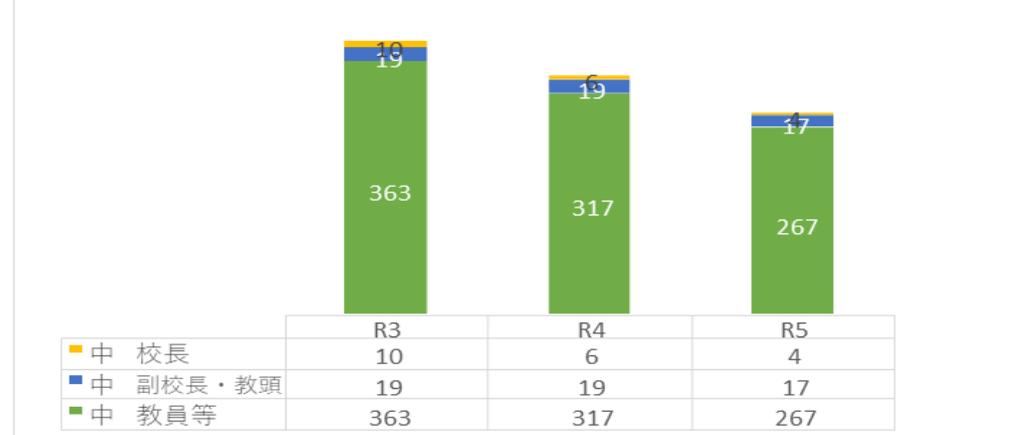
【中】 時間外在校等時間平均の推移（時間:分）



【小】 時間外在校等時間4 5時間超者合計（人）



【中】 時間外在校等時間4 5時間超者合計（人）



柏市小中学校 教職員の時間外在校等時間の推移（令和5年度3月時点）

過去3年間における毎年11月のデータを用いて、同月比較を行ったもの【小】…小学校 【中】…中学校